

令和5年竹田市教育委員会第9回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年9月5日（火）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1 番委員 佐藤 恵
2 番委員（教育長職務代理者） 吉野 聖子
3 番委員 岡 茂樹
4 番委員 甲高 幸一
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 野仲 芳尊
学校教育課長 渡邊 幸美
生涯学習課長 佐藤 俊郎
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 甲斐 正寿
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐 羽田野京子
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第8回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
議題第43号 令和5年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について
(4) 報告事項
報告第6号 令和5年度竹田市教育関係功労者表彰候補者について
(5) 審査事項
(6) 協議事項
幼稚園・小学校の運動会について
竹田市教育長・教育委員学校訪問について
(7) 連絡事項
(1) 9月幼・小・中行事予定表
(2) 9月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

- 野仲教育総務課長 委員の出席状況でございます。教育長及び委員4名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから第9回定例会を開催します。第8回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 報告の前に、資料に1箇所誤りがありますので訂正をお願いいたします。下から2行目、9月1日に議会第2回定例会本会議とありますが、正しくは第3回定例会であります。お詫びして訂正をいたします。申し訳ありませんでした。それでは、前回の教育委員会第8回定例会以降、教育長が出席しました会議・諸行事等について報告いたします。8月10日、竹田市人権を守る市民の集い。16日、第1回竹田市表彰委員会。17日、大分県市町村教育長協議会総会。18日、大分県中学校社会科教育研究会(中社研)夏季研修会竹田大会。21日、校長・所長会議、及び小学校英語授業力向上研修。22日、竹田市立図書館協議会。23日、中学校英語教育授業力向上研修、及び地方創生推進会議。25日、2学期始業式、及び県民スポーツ大会竹田市選手団結団式・監督会議。26日、奥豊後の踊りを楽しむ夕べ。28日、定例課長会議、及びサフラン始業式。29日、御客屋敷指定管理者選定委員会、JAおおいたピーマン生産部会からの学校給食用ピーマン贈呈式、及び教頭・主要主任合同研修会。9月1日、議会第3回定例会の開会。そして、本日5日、教育委員会第9回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等はございませんか。甲高委員。
- 甲高委員 先日、学力調査の結果が出ておまして、竹田市としても、英語力の向上というのは、これから先行われないかなければいけないと思います。そこで、8月21日と23日に英語の授業力向上研修ということで早速、英語力に関する研修が行われているようですので、その研修について少し教えていただければと思います。
- 志賀教育長 学校教育課長。
- 渡邊学校教育課長 ありがとうございます。では、8月21日の小学校の英語授業力向上研修についてです。この日は各小学校から若手の先生中心に1名ずつ参加していただきました。内容としては、別府短期大学教授の太田先生をお招きして、指導要領をもとに、小学校で求められる、付けなければならない力の理論学習をした後に、今年度の全国学力学習状況調査の英語の調査問題を、主に中学生ではここまで

の力が求められますよってということもあわせて講義していただきました。そのあとで、竹田市の英語の管理職を中心に、授業の中で使えるアクティビティや教材・教具の紹介をしていただきながら、あわせて先生方にも体験していただきながら、授業づくりについて研修をいたしました。中学校については、8月23日この日、第2回になるのですが、1回目は、教育事務所の丸田指導主事をお迎えして、単元の目標を「読むこと」に置いた主要展開の模擬授業をしていただきました。2回目は私の方が、単元のゴールを「書くこと」を目標にした模擬授業をさせていただいて、後半の時間で、単元でつきたい力を意識した単元テストの作成を、英語の職員が集まってしております。すみません。私の方がお伝えするのを忘れていたのですが、8月22日には、小学校3年生から6年生までの希望者を集めて、近隣のALTを交えて、8人のネイティブの方と交流しながら、英語に触れる楽しさとか、英語を使える楽しさを小学生に伝えました。以上です。

志賀教育長

その他ございませんか。佐藤委員。

佐藤委員

小学校の授業力向上研修と、中学校の授業力向上研修で、研修をした後に、小学校の先生と中学校の先生が連携をする機会ってというのはありますか。それは、小学校で初めて英語を習いかけたときにはすごく取っつきがよく英語が好きなんだけども、中学校になってから、急にやっぱり英語が嫌いっていうことが多いんだって聞いて、単語が覚えられない、文法が覚えられない、入りにくいという話を聞いてました。どうにかして小学校中学校で、連携を取る機会があればと思うんですが。

志賀教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。ありがとうございます。すごく大切なところですよ。一つは竹田教育研究会という会がありまして、その中に英語部会があるのですが、年4回、研修をして授業を見学したり、先ほどおっしゃった小中の連携について話をしたり、研究を深める会はあります。その中で、英語部会は前半小学校と中学校の先生が一堂に会して研究する時間を取っております。ただ、どこまで深くってというのはちょっと私の方が把握しておりませんが、そういう形でできる、連携が取れるような仕組みはあります。もう1点は、今度11月に久住小学校の方で、小学校の英語の授業の研究会を行うのですが、その際に、中学校4校の英語の教員はすべて参加するようにして、小学校の実際の授業を見ていただく予定にしております。ただ、その前段に久住小学校で授業をされる先生が、1学級しかないんで、例えば、複数学級があるところであれば、1組で提案する授業をやってみてその修正をして本番は2組で研究授業っていうことがあるのですが、それができないのでということで10月には小学校の先生の希望で、ぜひ英語授業力研修会の場で模擬授業を1回させていただきたいということで、そういった意欲的なお声もいただいております。以上です。

志賀教育長

ほかにないでしょうか。

それでは次に移ります。本日の審議事項1件です。本日配付の第9回定例会追加議題をご覧ください。議題第43号、令和5年竹田市教育行政に関する点検評価報告書について、教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

議題第 43 号、令和 5 年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書についてでございます。前回、報告書（案）の初稿をお配りしておりましたが、定例会後に原稿の一部に転記ミスによる誤りが見つかりまして、該当部分 2 ページ分（P63・P64）の差し替え原稿を、先日郵便にてお送りさせていただいたところでございます。たいへん申し訳ございませんでした。

それ以降の追加原稿としまして、終わりの方のページ、74 ページから 84 ページにかけて、外部評価委員をお願いしている大分大学名誉教授の山崎清男先生と、竹田市の元小学校長である畑山誠二先生、お二方からいただいた外部評価のご意見を新たに掲載しております。加えまして最終ページ・85 ページに、「おわりに」ということで教育委員会としてまとめた文章を追記し、今回改めて最終案という形で、委員の皆様にお示しをしております。外部評価委員のご意見・指摘を受けて今後の、報告書内の内容修正はございません。委員の皆様からは、今日までに特に修正等のご連絡をいただいておりますけれども、本日、何かお気づきの点などございましたら、おっしゃっていただきたいと思っております。特に疑義等がなければ、この案をもって、報告書の完成とさせていただきたいと考えております。

なお、この後のスケジュールとしましては、ただいま議会 9 月定例会が開会中でございますので、市議会へも配付をし、10 月には市のホームページに掲載をしまして、一般への公開・公表をする予定にしております。以上です。

志賀教育長

説明が終わりましたので質疑を受けます。質疑等ありませんか。ないようでしたら、議題第 43 号を承認してよろしいでしょうか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

報告事項に移ります。報告第 6 号、令和 5 年度竹田市教育関係功労者表彰候補者についてです。教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

報告第 6 号、令和 5 年度竹田市教育関係功労者表彰候補者について報告をいたします。A 4 横書きの資料、教育関係功労者表彰具申者一覧表をご覧ください。この表に記載のとおり、今回、6 名の皆さん方を推薦・具申しております。表頭左端の区分にあります 1 条 3 号というのは、竹田市教育関係功労者表彰規則の第 1 条第 3 号のことで、この条項にある「社会教育の振興について功績が顕著なもの」に該当するというので、教育委員会が表彰するという規則の定めを根拠としております。

一番上の山崎清男先生は、教育総務課から推薦ですが、本日の審議案件にもありました教育行政の点検評価にかかる外部評価委員として、12 年の永きにわたってご指導・ご助言をいただいております。次の池田正憲さんから最後の三苦克也さんまでの 5 名は生涯学習課からの推薦です。池田正憲さんにつきましては、菅生分館長を 11 年間にわたって務めていただき、生涯学習の発展に寄与いただきました。佐藤雄治さんは、白丹公民館長を 10 年間務め、また竹田市中央公民館分館長会長としても分館活動の振興にご尽力いただきました。高山美香さんは、20 年の永きにわたって、荻町スポーツ少年団バレーボール部の指導を通して青少年の健全育成、バレーボールの普及に貢献をいただきました。併せて、スポーツ推進委員も務めていただいております。伊達和友さんは、10 年の

永きにわたって、スポーツ推進委員としてスポーツの普及・振興にご尽力いただきました。三苦克也さんも同じくスポーツ推進委員として11年間、地域スポーツ活動の普及・振興に寄与いただいております。以上6名の皆様方について、竹田市表彰委員会において協議され、表彰の決定がなされた後、11月3日の功労者表彰式式典におきまして、表彰を行う運びとなっております。

志賀教育長

説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑はありませんか。ないようでしたら、報告第6号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

承認されました。それで次に協議事項について、教育総務課長説明をお願いします。

野仲教育総務課長

協議事項の一つ目が、幼稚園・小学校の運動会についてです。資料2ページをお開きください。前回の第8回定例会で割り振りの案を提案しておりました。委員の皆様に出席とご挨拶をお願いしている学校に変更はございません。前回の案に、開会・閉会予定時刻と雨天時の対応の部分を追記しておりますのでご確認をお願いいたします。

次に3ページをご覧ください。協議事項二つ目の、教育長・教育委員の学校訪問についてでございます。この件につきましても、前回定例会でお示しをしておりましたが、学校の都合等によって、訪問日程を一部修正しております。学校訪問の期日に変更はありませんが、訪問当日の時間をそれぞれ調整しておりますので、改めて、内容のご確認をいただきたいと思っております。なお、最下段に、3. 留意点を記載しておりますので、併せてご確認ください。協議事項については以上です。

志賀教育長

質疑等ありませんか。それでは次に、連絡事項について、教育総務課長説明をお願いします。

野仲教育総務課長

連絡事項(1)、9月の幼稚園・小・中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。9月1日、幼稚園始業式。4日、直入中の職場体験。5日、竹田南部中2年生・直入中の職場体験、及び竹田幼稚園の避難訓練。6日、竹田南部中2年生の職場体験。7日、竹田市英語弁論暗唱大会。9日、白丹小秋季大運動会。10日、城原小の地区合同秋季大運動会。12日、竹田中2年生の職場体験、及び緑ヶ丘中の薬物乱用教室。13日、竹田中2年生の職場体験。14日・15日の両日、竹田中1年生の宿泊研修。16日、秋季大運動会、実施の学校は竹田小・幼稚園合同、南部小・幼稚園合同、菅生小、荻小、久住小、都野小となっております。17日、豊岡小・祖峰小の秋季大運動会。22日、白丹小3年生から6年生の県立美術館ワークショップ。23日、直入小の秋季大運動会。26日、荻小5・6年生の大分トリニータサッカー教室。27日、中体連新人球技剣道大会。続いて、次のページ、3ページをご覧ください。9月の教育委員会関係日程(予定)表でございます。本日5日、教育委員会第9回定例会。6日・7日の両日、議会定例会の一般質問。8日、里見奨学会図書費贈呈式。9日・10日の両日、第76回県民スポーツ大会。11日、竹田市青少年育成市民会議第1回理事会・総会。12日、議会本会議・予算特別委員会。13日、第2回竹田市表彰委員会。14日、

議会・決算審査特別委員会。15日、県民スポーツ大会竹田市選手団解団式。20日、竹田市歴史的風致維持向上協議会。21日、第7回校長・所長会議。22日、議会・社会文教常任委員会。23日、第3回竹田市トライアルフェスタ。26日、議会定例会最終日。27日、定例課長会議。29日、第71回九州地区英語教育研究大会に向けた授業研究会。10月3日、竹田南部中での航空教室。これはキャリア教育の一環として、ソラシドエアの協力によって行います。5日、竹田市要保護児童対策地域協議会代表者・実務者合同会議、及び教育委員会第10回定例会。

資料1ページに戻っていただきまして、(3)今後の主な予定です。①教育委員会第10回定例会は、10月5日(火)15時から、場所は本庁議室。②教育委員会第11回定例会は、11月6日(月)15時から、場所は同じく本庁議室で行います。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

連絡事項について、質疑等はありませんか。
甲高委員。

甲高委員

はい。5日、6日と12、13日と職場体験が各中学校であると思います。それで、保護者の方からも将来の職業の選択する中で職場体験というのは非常に大事で、うちの会社にも、職場体験に協力していただけませんかっていうご案内があったんですが、ちょっと残念ながら私の都合がつかずにできなくて、他の会社を紹介させていただきました。この職場体験なんですが、2年生の希望、例えばこういう会社に行ってみたいという希望をとって、協力してくれる会社を探しているというような感じになっているのか、それを教えていただければと思います。

志賀教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

希望は取ります。ただ、お願いできる事業所だとか、受け入れていただく事業所に、人数、条件、あと個人情報に関わるようなお仕事の職場もありますので、そういったことを考えながら探してはいきますが、なかなかすべての子どもたちが希望のところというふうにはっていないのが現状です。

志賀教育長

その他、ありませんか。
吉野委員。

吉野委員

9月14日15日、竹田中学校1年生の宿泊研修について、どういった内容なのか教えてください。

志賀教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

申し訳ありません。内容については把握しておりません。至急確認いたします。

志賀教育長

では、後程よろしく申し上げます。
他にありませんか。

はい。それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

野仲教育総務課長

ただいま開会中の第3回定例会、9月議会におきまして、教育総務課関係では3名の議員から一般質問の通告を受けております。まず、阿南智博議員からは、学校の施設整備ということで、竹田南部中のグラウンドと屋外トイレにかかる質問、竹田中の同じく屋外トイレの整備についての質問通告がされております。阿部雅彦議員からは、教育環境整備の観点から、学校現場から出される教育予算の要望事項への対応状況について、また予算全体に占める教育予算、特に学校教育予算の予算配分方針について尋ねられています。3人目の佐藤市蔵議員からは、熱中症対策としての、学校施設の冷房化についての質問が出されております。

いずれも、各学校現場の現状をお伝えしたうえで、市の厳しい財政事情、限られた予算の中において、緊急度・重要度を勘案し、優先されるものから順次対応していきたい旨答弁することとしております。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。学校教育課からは2点です。一つ目は先ほど甲高委員からのご質問いただきました各種学力調査の結果公表を受けての学力向上対策について、そしてその他のお知らせです。前回の教育委員会で各種学力調査の結果については少し触れたところですが、4月に行われた小学校5年生、中学校2年生を対象にした「大分県学力定着状況調査」、また、小学校6年生、中学校3年生を対象にした「全国学力学習状況調査」においても、竹田市の児童生徒の学力の状況は芳しいものではありませんでした。もちろん、学校によって、また学年によって、状況は異なりますが、竹田市全体として、小学校では特に算数が、中学校では特に英語が課題となっています。そこで、各種学力調査の結果公表後、学力向上対策として次の3点の取組を始めております。

一つ目は、学校毎に、自校の児童生徒の学力の課題・取組をしぼり、学力向上に向け、組織的に取り組むべき具体的な内容を学力向上会議の中で、学校運営協議会の委員さんや保護者の方々と共有し、徹底して取り組むことを各学校・全教職員で意思統一しました。これは年度当初から行っていることではあります。が、各種学力調査の結果公表の後、再度、学校毎で学力の課題を確認し、学校が決めた学力向上施策に、徹底して取り組むことで、自校の児童生徒一人ひとりの学力を向上させることを、校長所長会議・教務主任会議で確認いたしました。また、この後予定しています教頭会議でも確認し、徹底させてまいります。

二つ目は教職員の授業力向上をねらいとして、教職員を対象に、小学校では放課後学習会、中学校英語では授業力向上研修会を毎月もち、授業づくりや学習指導について研修を行います。授業を見る機会の創出として、各学校での互見授業に加え、竹田市および県の指導主事やベテラン教員が模擬授業を行うとともに、参加する教職員も「つけたい力」にそった模擬授業にトライし、指導主事等から助言をいただきます。また、単元計画づくり等の研修も予定しています。

三つ目ですが、小学校の算数の補充に対して、4年生～6年生を対象とした「たけたん小テスト」の取組を行います。毎月1日～10日の間にタブレットから2次元コードを読み取って、解答し、竹田市教育委員会で採点の後、児童および教職員に戻し、担当の教師が事後指導にあたります。「たけたん小テスト」の問題は、算数での「つけたい力」にそった問題であり、活用型の問いを中心とした大分県および全国の学力調査の類似問題となっています。

中学校の英語力の向上に向けては、竹田市の英語教師たちが作成した単元テストの実施を行います。教師は、単元に入る前に単元テストを解くことにより、その単元で「つけたい力」を確認します。さらに、大分県および全国の学力調査問題の出題形式で作成された単元テストにトライすることで、生徒たちに経験を積みさせます。

続いて、生徒たちが自ら学ぶ機会の場合「たけたん自學舎」のリニューアルについて、お知らせいたします。これまで、小学生対象に4回、中学生対象に5回、開催しておりますが、利用者が少ないという課題があります。そこで「たけたん自學舎」の内容の再検討を行い、高校入試や定期テストに向けての学習も進められるような学びの場となるよう計画中です。小学生対象の「たけたん自學舎」はこれまでと同様、竹田市立図書館を活用し、学習や読書の機会を提供していきます。また、中学3年生対象には「竹田高校体験セミナー」を開催し、入試に向けて、高校の先生から英語・数学の授業を受けています。こちらのほうは、毎回30名の中学生の参加があります。「たけたん自學舎」にも多くの児童生徒の参加がいただけるよう、各学校への周知はもちろん、竹田市PTA連合会やケーブルTV等を通して、「たけたん自學舎」の紹介を行い、生徒が意欲的に学びに向かう手立てを模索してまいります。

また2学期より、児童生徒の図書館活用において、「竹田市小・中学校学校図書館蔵書管理システム」を導入します。学校図書館は読書活動の推進の場であることはもちろんですが、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学び、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点からの学びの場となることを目的に、活用を進めています。このシステムの導入より、学校図書館の貸出・返却作業や蔵書管理作業が容易になることに加え、子どもたちが自分自身のタブレット等で自ら多角的に本を探ることができるようになります。

最後に、各種学力調査には生活アンケートによる質問もあり、竹田市の児童生徒は小中ともに「あいさつをする」「間違っただけの問題はそのままにしない」という質問項目の肯定的な数値が、全国と比べても高くなっています。

竹田市の児童生徒の強み・良さを伸ばしながら、「多様性を大切にし、主体的に生きていける」児童生徒の育成に努めてまいります。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。生涯学習課から1点です。先ほども説明ありましたが、第76回大分県民スポーツ大会が、9月9日、10日、11日を主日程として開催されます。選手団の総勢は375名です。先行競技として8月26、27日に自転車競技、9月2日に議員ソフト、男女バレー、男女テニス、9月3日にラグビー、綱引き競技がすでに開催されました。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

まちづくり文化財課です。今年度、今期の指定管理期間が終了いたします市指定史跡御客屋敷の指定管理者の公募を開始しております。先月、外部委員を入れた選定委員会を行いまして、現在3年間の管理期間を5年間に延ばして、令和10年度までの5か年の指定管理者を9月29日までの日程で募集していると

ころです。募集対象につきましては、竹田市内に主たる事業所を有する法人等で、10月17日に選定委員会でプレゼンテーションを行いまして、12月議会に上程という予定をしておりますので、お知りおきいただければと思います。

志賀教育長

はい。佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

歴史文化館です。チラシを机上に配らせていただきました。9月2日(土)から、企画展「器～竹田の器と食文化～」展を開催しています。人が生きていくうえで欠かすとのできない「食」に深く関わる「器」は、時代とともに形や使い方をはじめ、その価値も変化してきました。今回の展示では、主に竹田で実際に使用された器に焦点を当て、縄文時代からの形・活用・価値の変化とともに、岡藩時代に武家や商家の膳で活用された器やそこに盛られた食材、及び茶の湯で活用された器などについても紹介します。多岐にわたる「器」の世界をゆっくりとご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

志賀教育長

甲斐学校給食調理場長。

甲斐給食調理場長

給食調理場からは、2点ほどご連絡いたします。まず1点目は、7月から始まりましたサフランの給食の状況なんですけども、夏休みを挟みまして一応2か月過ぎております。スクールソーシャルワーカーの方が給食を受け取りにみえますので、状況を教えてほしいとお願いしたところ、新学期に入りまして、一応給食数は5名と変わらないんですが、元の中学校に戻るようになった生徒、それから新たに、サフランに来られるっていう方がいらっしゃって、5名という枠は変わらないんですけども、少しずつ給食を食べることによって、学校に戻るとか、サフランに来れるようになってきているというお話を伺っております。それから2点目ですが、若干早いんですけども、11月に小学校の給食調理場の視察、給食調理場訪問がございまして、竹田小学校、直入小学校が視察に見える予定です。その他の小学校でも、今後視察希望があると思います。例年、給食調理場に視察に見えますと、給食の残渣、おかずやご飯の残りがかなり減って、非常に給食を作る方の気持ちとか、感謝の気持ちとかそういったお話ができますので、2学期は給食の残渣が減ってくるという効果がございまして、多くの小学生、1年生が多いと思いますが、視察の受け入れをしたいと思っています。以上でございます。

志賀教育長

図書館について、教育総務課長。

野仲教育総務課長

図書館からは、特にお知らせはございません。

志賀教育長

各課からの報告について、ご意見質問等はございませんか。
ではないようですので、教育委員の皆さんからご意見、感想等があれば、いただきたいと思います。
佐藤委員から、お願いします。

佐藤委員

私、8月29日の萩の教育を考える会は、体調不良のため出席ができませんでした。すみませんでした。それには出席できなかったんですが、8月24日、男女共同参画の講演会「自立した人生に向けて～少子高齢化の中で」という坂東眞

理子さんの講演を聞いてきました。女性が女性らしくあるために、少しでも社会に貢献、役に立つことで自信がついていくのではないかとということと、女性の講師の坂東さんだったので、着るものの質が良くても、高価なものを着ていても必ずくたびれる時が来るので、新しいおしゃれを取り入れて、気分から前向きな気分になるようにしていこうっていう講演でした。聞きに来ていたのは女性の方が大半を占めていたんですけど、とても共感できる部分が多くて、次回、男女共同参画会議があるときに、講演を聞きに行けなかった方にも報告ができるようにしたいと思います。

志賀教育長

吉野委員をお願いします。

吉野委員

8月23日に直入中校区の小中合同の学力向上委員会、直入の教育を考える会に出席してきました。小学校の先生のお話で気になったのは、授業を受ける時の子どもたちの意欲は十分にある、態度がとてもよい、生き生きしているということと、学力定着と繋がらないということが結果に出ている。中学校の先生の話で気になったのは、学力調査の結果から、以前は得点の低い層と高い層に二つの人数分布の山があるという話をどこの中学校でもよく聞いていたんですけど、学力の二極化がまたちょっと変化してきて、今回は分布が均一であるという話でした。ますます授業のときに、どこに照準を合わせるかが難しいというお話がありました。小中に共通して、子ども一人一人に合った課題を与えたいし、それをじっくり解いてもらって、ノートやプリント、宿題で丁寧に添削して、一人一人の理解度や頑張りを見届けたい、そしてリアクションしたいということ、時間があればもっとしたいが、とても時間が足りないという話でした。地域協働の学習支援部の方でノートを見たりできれば、定期的にやっていきたい、前からやっていたんですけども、続けていきたいと思います。

点検評価の時に、お話すればよかったんですけど、78ページのところに、「教育委員が独自の学習会を開催し」というところがあるんですけど、教育委員が主催する学習会のことで誤解を招くようなことが、もしありましたらご心配かけてしまい申し訳ないと思っております。どういうことをしているのかをこの場でお話しさせてください。学習会と言っても、本当にこの委員4人だけで、ほかの方を交えてということではありません。簡単に言うと資料を見ての気づきを共有するということです。とらえ方に誤解があるままで定例会に出席してしまうとおかしな質問をして円滑に進行できないとまずいので、読み違えたままのところがないか、それから疑問に思ったことでもそれはすでに理解しているべきことで、さかのぼって資料を読めば、知っていなければいけないことを忘れてしまっていることもあるので、そういうところを指摘しあって訂正して、もう少し話ができれば、同じ質問を持っている人は誰が質問するか、その分違う質問を誰がするかとかいう分担を時にはすることもありますが、決して意見を揃えようとか、それは違うんじゃないかとかそういうことはしていませんので、お知らせしておきます。

志賀教育長

岡委員、お願いします。

岡委員

はい。今回、確認したい点と、8月の活動として思うところを少し述べたいと思います。まず先日の定例会で、長期休暇明けの子どもたちがスムーズに学校生活をスタートさせて欲しいと申し上げたんですけども、休み明けの子どもたち

の欠席状況その辺の様子を教えてください。あと8月に私は白丹小、都野小の学力向上会議に出席をさせていただきました。久住小は出席できなかったんですけども、後日資料拝見いたしました、私非常に学びの多い会議でした。学力向上プランについては、成果が出るまである程度時間がかかるので、長期的に見ていく必要があると思うんですけども、今回外部評価の方でも、そのプラン自体が実際に本当に学力向上に繋がっているんだろうかとちょっと厳しいご指摘も見られるようで、今回8月からの取り組みでプランの徹底した取り組みというところもあるんですけども、やはり今回の学力調査の結果というのが、これまでのプランの効果がどの程度反映されているものかというような視点はやはり大切かなと思います。また、この場で言うのもあれなんですけど、各学校でも非常に評価表というか、とても細かく丁寧に分析をされてらっしゃって頭の下がる思いがしたんですけども、これだけの資料を作るのは本当に大変だろうなというのが率直な感想で、振り返り自体はとても大切なんですけども、いわゆる評価のための評価というか評価疲れが起こらなければいいな。今回中教審の緊急提言と重なってそこは非常に留意する必要がある点かなという個人的な感想です。あと1点すごく印象的だったのは、都野小の会議に出たときに、地域代表として、都野保育所の所長さんが来られてまして、その他いわゆる小一プロブレムのない環境づくりということで学校と保育所がしっかり関わろうとされてる姿がとても印象的でした。先般6月に南部小での架け橋プログラム公開授業というのが行われて、それをモデル事業として各学校で展開していこうという話があったと思うんですけども、現在それらの動きとか、あと市内の小学校1年生の様子とか、実際どんな感じなんだろうかなというふうに思っております。その辺を含めて、あと育児中の親御さんも非常に興味があるテーマだと思うので、今後は幼・保・小の取り組み事例の紹介とか、親として何を心掛ければいいのかといった提言など、ぜひプログラムの成果を情報発信していただきたいと思います。以上です。

志賀教育長

甲高委員。

甲高委員

はい。私からも竹田中学校学力向上委員会について、今年初めて、例年竹田小学校に参加してたんですけども、今年度統合後ということで、竹田中学校の学校運営協議会に参加させていただきました。それともう一つは、先日県体の結団式、先ほど生涯学習課長からもありましたが、結団式に参加をさせていただきました。まず、そちらの話からさせていただきますが、コロナが5類に移行されて、結団式もほぼすべての競技の競技人が参加して行われました。練習不足とか人が集まらないとかいろいろ問題あると思うんですけども、ぜひ、皆で力を合わせて頑張っていきたいなと感じましたし、私も一応、陸上の総監督として参加させていただいて、みなさんとともに頑張っていきたいと思っています。参加される選手の方、監督の方、スタッフの方皆さん、頑張ってもらいたいと思います。それと、竹田中学校の運営協議会についてなんですけども、まず私が一番気になったのは保護者、久住の方、都野の方の意見が、運営協議会の中で、出てくるかなと思ってました。そうしたら、PTA役員の方が積極的に発言されていたのが印象的でした。こういう風にしたらもっと久住の方や都野の方が集まりやすいとか、例えば飲み会でも、都野でやってみるとか、そういう案も出ておまして、非常にその辺聞いていて保護者が一緒になろう、一つになろうということをしているのがすごく印象的でした。で、学校の評価アンケートについて、

この問題は多分どこの学校すべての学校において出てくるかと思うんですが、評価が低かったっていうか、我が家のメディアルールを親子で話したとか、そういうアンケート作ってるんですが、それが非常に、非常にと言っても60%台なんですけど、ちょっと低くて、それで評価が下がったりしてました。ただ、これに関しては、その保護者の方からいろんな意見が出てまして、やはり勉強しているから、例えば11時ぐらいにタブレットを使って勉強してるから、12時までやって今もやってる。という意見もあってなかなかそこで制限ができない。例えばリビングです。そうすれば、親の目の届くところでタブレットを触ってるから、どういうふうに親も見ることにはできるけど、やっぱり勉強は自分の部屋でやる。その中でももしかしたらゲームをしている子もいるかもしれない。ただ、はっきり制限できない。一度寝てまた勉強してる子もいるので、なかなかこの、これに関しては非常に難しいというような意見が出ました。ただ、親御さんともう1回研修会を、また中学でもしてるけど、さらに、多くの方に集まってやってもらえるようにということで何かの行事の時、親が保護者が多く集まった時に、PTA研修会をしようというような意見も出て、なるべく多くの方に参加していただいて、こういう影響があるんですよというようなことを含めてやっていきたいというような、非常に活発な運営協議会だったなあという感想です。以上です。

志賀教育長

ただいまの教育委員の皆さんの意見に、お答えできる方はお願いします。
学校教育課長。

渡邊学校教育課長

では、一つずつお答えできるものについてお答えしていきます。まず一つ目。休業明けの欠席の状況です。好転している、目に見えて好転しているという報告はありませんが先ほどの、調理場長さんからの報告がありました。サフランにも行っていなかった生徒さんが、休み明け、サフランに続けて来ているという報告を受けております。その件が一点ありますが、目に見えて増えていると、出席できるような子供さんが増えたという状況ではありません。それからあと二つ目です。学力向上プランの取り組みが、結果等にどの程度繋がっているのか。もっと言えば効果が出ているのかっていったところなんですけど、今回特に教務主任会議等において、学力向上プランを各学校で持ってきていただいて、見合ったりということもありました。達成指標が適切でない、例えば低いんじゃないかっていうようなことだとか、それが本当に喫緊の課題なのかって言うこと、例えば思考力、判断力、表現力を伸ばす取り組みになっているけれども、もっと、基礎的、基本的なところが先ではないだろうとかいったような、そういった一度、各学校にもう一度返すというか、先ほど委員さんがおっしゃってくださったのと同じような投げかけをして見直しをしていただくようなことを、今回はしております。小1プログラムの問題についてですが、今の架け橋プログラムで、保育所や幼稚園の方に、作業療法士の方が何回か伺って、体の使い方、例えば姿勢の保持だとか体操だとかを、子どもたちと一緒にやりながら教えていただいているんですが、そういったことが、去年からしていることに関して、今年1年生に上がった子ども達では、とても効果があったというような学校もありますし、実際に今年は保育施設の方から、「もっと呼んでもいいだろうか」というような要望があったりだとか、「とてもいいので」ということで、そういった声をいただいているので、架け橋プログラムの成果の一つとしては、きちっとした報告はまた今後していきますが、感じているところです。

もう1点、タブレットの使用で、夜遅く本当に勉強しているのだろうかというところで、教育委員会としても、今そこを各学校と相談しながら、例えば小学校であれば9時以降、中学校であれば10時以降使用できないように、一斉にこちらの方からしてもいいか、するべきだろうかというようなことについても検討している最中です。あわせて、前も話題になりました。子どもたちの検索履歴について、こちらの方で、もしくは学校の方で確認できるんだけど、その項目を入れてもいいかっていうようなところも併せて、今教育委員会で検討しているところです。以上です。

志賀教育長

委員の皆さん、よろしいでしょうか。岡委員から出されました中教審の特別緊急提言について一言で言うと、先例にとらわれている部分をやめて改革せよ、ということです。細か過ぎる評価がもしあるのであれば、評価の指標を見直して、意義のあるものにしていくために見直す部分もあると思います。竹田市教育行政に関する点検評価でも、外部評価委員さんが書かれていましたけれども、指標のある評価、主観で付けたのではないかなと思われる評価もありますので、そういったものをきちんと整理していく。それから、教育委員独自の学習会については資料を読み込んで気づきを出し合うという合理的なものになっていると思います。

他にありませんか。ないようでしたらこれで、定例会を閉会いたします。

[閉会時刻:午後3時52分]